

平成 27 年 4 月 20 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

宮古市内の保育所（園児数 40 名、職員数 8 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 4月17日(金)、当該施設から宮古保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から宮古保健所が調査を開始し、4月15日(水)から4月18日(土)にかけて、23名（園児19名、職員4名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者0名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員		合計
						30歳代	50歳代	
男	1	1	2	5	1	0	0	10
女	1	3	2	2	1	2	2	13
計	2	4	4	7	2	2	2	23

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 4 月 20 日 (平成 27 年度累計)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	4 (4)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 4 月 20 日 (平成 26 年度累計)	5 (48)	1 (3)	0 (6)	6 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 4 月 20 日 (平成 25 年度累計)	1 (71)	2 (6)	0 (5)	3 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 5 月 13 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

宮古市内の障害福祉施設（入所者数 24 名、職員数 27 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 5月11日(月)、当該施設から宮古保健所に、複数の入所者が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から宮古保健所が調査を開始し、5月5日(火)から5月11日(月)にかけて、入所者11名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者0名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	10歳未満	10歳代	20歳代	合計
男	0	4	5	9
女	1	1	0	2
計	1	5	5	11

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 5 月 13 日 (平成 27 年度累計)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	5 (5)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 5 月 13 日 (平成 26 年度累計)	10 (48)	1 (3)	0 (6)	11 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 5 月 13 日 (平成 25 年度累計)	3 (71)	2 (6)	1 (5)	6 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 5 月 26 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

一関市内の保育所（園児数 85 名、職員数 21 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 5月22日(金)、当該施設から一関保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から一関保健所が調査を開始し、5月19日(火)から5月22日(金)にかけて、15名（園児14名、職員1名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者1名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員 (20代)	合計
男	1	1	1	1	3	1	1	9
女	0	2	4	0	0	0	0	6
計	1	3	5	1	3	1	1	15

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 5 月 26 日 (平成 27 年度累計)	8 (8)	0 (0)	2 (2)	10 (10)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 5 月 26 日 (平成 26 年度累計)	13 (48)	2 (3)	0 (6)	15 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 5 月 26 日 (平成 25 年度累計)	5 (71)	3 (6)	2 (5)	10 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 5 月 29 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりサポウイルス及びアストロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

一関市内の保育所（園児数 61 名、職員数 21 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 5月22日(金)、当該施設から一関保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から一関保健所が調査を開始し、5月16日(土)から5月28日(木)にかけて、園児17名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者0名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
男	2	1	0	3	1	7
女	3	1	1	2	3	10
計	5	2	1	5	4	17

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名中4名からサポウイルスを、2名からアストロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 5 月 28 日 (平成 27 年度累計)	8 (8)	0 (0)	3 (3)	11 (11)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 5 月 28 日 (平成 26 年度累計)	13 (48)	2 (3)	0 (6)	15 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 5 月 28 日 (平成 25 年度累計)	5 (71)	3 (6)	2 (5)	10 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。



平成 27 年 6 月 15 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

花巻市内の小学校（児童数 417 名、職員数 30 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 6月12日(金)、当該施設から中部保健所に、複数の児童が、嘔吐等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から中部保健所が調査を開始し、6月4日(木)から6月15日(月)にかけて、児童26名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者1名（既に退院）、重症者なし。

#### 【児童（有症者）の性別・学年別構成】

区分	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計
男	2	2 (1)	3	5	4	1	17 (1)
女	0	3	3	2	0	1	9
計	2	5 (1)	6	7	4	2	26 (1)

( ) 内は、入院者再掲 (単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者9名中7名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 15 日 (平成 27 年度累計)	9 (9)	0 (0)	3 (3)	12 (12)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 6 月 15 日 (平成 26 年度累計)	14 (48)	2 (3)	0 (6)	16 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 6 月 15 日 (平成 25 年度累計)	6 (71)	4 (6)	2 (5)	12 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 6 月 23 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

花巻市内の保育所（園児数 37 名、職員数 11 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 6月18日(木)、当該施設から中部保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から中部保健所が調査を開始し、6月11日(木)から6月19日(金)にかけて、園児17名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者0名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
男	0	0	2	1	1	1	5
女	1	4	1	4	1	1	12
計	1	4	3	5	2	2	17

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者3名中2名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 6 月 23 日 (平成 27 年度累計)	10 (10)	0 (0)	3 (3)	13 (13)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 6 月 23 日 (平成 26 年度累計)	15 (48)	2 (3)	0 (6)	17 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 6 月 23 日 (平成 25 年度累計)	6 (71)	4 (6)	2 (5)	12 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 7 月 21 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

北上市内の小学校（児童数 613 名、職員数 40 名）

#### 2 有症者の状況等

- （1） 7月17日（金）、当該施設から中部保健所に、複数の児童が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- （2） 同日から中部保健所が調査を開始し、7月15日（水）から7月21日（火）にかけて、児童16名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- （3） 有症者は回復傾向にあり、入院者0名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	2 学年	3 学年	合 計
男	8	1	9
女	7	0	7
計	15	1	16

（単位：人）

#### 3 原因究明の調査等

- （1） 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名中3名からノロウイルスを検出。
- （2） 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- （3） 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 7 月 21 日 (平成 27 年度累計)	11 (11)	0 (0)	3 (3)	14 (14)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 7 月 21 日 (平成 26 年度累計)	17 (48)	2 (3)	0 (6)	19 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 7 月 21 日 (平成 25 年度累計)	7 (71)	4 (6)	2 (5)	13 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 11 月 19 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

雫石町内の保育所（児童数 59 名、職員数 11 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 11 月 16 日（月）、当該施設から県央保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から県央保健所が調査を開始し、11 月 13 日（金）から 11 月 18 日（水）にかけて、24 名（園児 22 名、職員 2 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	職員 (20 代)	職員 (30 代)	合計
男	2	2	2	1	2	1	0	0	10
女	4	3	2	2	0	1	1	1	14
計	6	5	4	3	2	2	1	1	24

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 4 名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 11 月 19 日 (平成 27 年度累計)	12 (12)	0 (0)	5 (5)	17 (17)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 11 月 19 日 (平成 26 年度累計)	18 (48)	2 (3)	1 (6)	21 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 11 月 19 日 (平成 25 年度累計)	7 (71)	4 (6)	3 (5)	14 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。



平成 27 年 11 月 30 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生が 2 件ありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 雫石町内の保育所

##### (1) 施設の概要

雫石町内の保育所（児童数 43 名、職員数 9 名）

##### (2) 有症者の状況等

- ア 11 月 27 日（金）、当該施設から県央保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- イ 同日から県央保健所が調査を開始し、11 月 19 日（木）から 11 月 27 日（金）にかけて、19 名（園児 17 名、職員 2 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	職員 (20 代)	職員 (30 代)	合計
男	3	2	3	1	2	0	0	1	12
女	3	0	0	1	0	2	1	0	7
計	6	2	3	2	2	2	1	1	19

(単位：人)

##### (3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 3 名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

#### 2 一関市内の保育所

##### (1) 施設の概要

一関市内の保育所（児童数 133 名、職員数 40 名）

##### (2) 有症者の状況等

- ア 11 月 27 日（金）、当該施設から一関保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- イ 同日から一関保健所が調査を開始し、11 月 25 日（水）から 11 月 29 日（日）にかけて、

21名（園児18名、職員3名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。  
 ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

**【有症者の性別・年齢別構成】**

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職員 (20代)	職員 (40代)	合計
男	0	1	0	1	0	5	0	0	7
女	0	1	2	1	1	6	1	2	14
計	0	2	2	2	1	11	1	2	21

(単位：人)

**(3) 原因究明の調査等**

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 一関保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

**【参考】**

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

**(1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）**

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成27年4月1日～ 平成27年11月30日 (平成27年度累計)	15 (15)	0 (0)	5 (5)	20 (20)
平成26年4月1日～ 平成26年11月30日 (平成26年度累計)	19 (48)	2 (3)	2 (6)	23 (57)
平成25年4月1日～ 平成25年11月30日 (平成25年度累計)	12 (71)	4 (6)	3 (5)	19 (82)

(単位：件)

**(2) ウイルス性胃腸炎の予防方法**

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内5472】

平成 27 年 12 月 7 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

北上市内の保育所（児童数 144 名、職員数 43 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 12月4日（金）、当該施設から中部保健所に、複数の児童が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から中部保健所が調査を開始し、11月24日（火）から12月7日（月）にかけて、25名（児童22名、職員3名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者0名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・クラス等別構成】

区分	0-1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員 20代	職員 30代	総計
男	1	3	3	4	2	0	0	13
女	1	3	1	3	1	2	1	12
計	2	6	4	7	3	2	1	25

（単位：人）

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者8名中7名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、12/7 盛岡市公表 2 件分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 12 月 7 日 (平成 27 年度累計)	18 (18)	0 (0)	6 (6)	24 (24)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 12 月 7 日 (平成 26 年度累計)	19 (48)	2 (3)	2 (6)	23 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 12 月 7 日 (平成 25 年度累計)	13 (71)	4 (6)	3 (5)	20 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 12 月 9 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

雫石町内の保育所（児童数 64 名、職員数 15 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 12 月 7 日（月）、当該施設から県央保健所に、複数の児童が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から県央保健所が調査を開始し、11 月 23 日（月）から 12 月 7 日（月）にかけて、児童 18 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区 分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	総計
男	1	2	2	3	1	0	9
女	0	6	2	0	1	0	9
計	1	8	4	3	2	0	18

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 4 名中 4 名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 12 月 9 日 (平成 27 年度累計)	19 (19)	0 (0)	6 (6)	25 (25)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 12 月 9 日 (平成 26 年度累計)	19 (48)	2 (3)	2 (6)	23 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 12 月 9 日 (平成 25 年度累計)	14 (71)	4 (6)	3 (5)	21 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 12 月 17 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生が 2 件ありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 花巻市内の事案

##### (1) 施設の概要

花巻市内の保育所（児童数 14 名、職員数 6 名）

##### (2) 有症者の状況等

- ア 12 月 11 日（金）、当該施設から中部保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- イ 同日から中部保健所が調査を開始し、12 月 7 日（月）から 12 月 11 日（金）にかけて、12 名（園児 11 名、職員 1 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0～1 歳児 クラス	3 歳児 クラス	4 歳児 クラス	5 歳児 クラス	職員 (20 代)	合 計
男	0	3	3	3	0	9
女	2	0	0	0	1	3
計	2	3	3	3	1	12

(単位：人)

##### (3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 5 名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した疫学調査等から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

#### 2 北上市内の事案

##### (1) 施設の概要

北上市内の保育所（児童数 59 名、職員数 15 名）

##### (2) 有症者の状況等

- ア 12 月 14 日（月）、当該施設から中部保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- イ 同日から中部保健所が調査を開始し、12 月 5 日（土）から 12 月 15 日（火）にかけて、

18名（園児15名、職員3名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。  
 ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

**【有症者の性別・年齢別構成】**

区分	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員 (30代)	職員 (50代)	合計
男	5	2	1	1	0	0	0	9
女	1	0	1	2	2	2	1	9
計	6	2	2	3	2	2	1	18

(単位：人)

**(3) 原因究明の調査等**

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。
- イ 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

**【参考】**

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

**(1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（岩手県内、盛岡市分を含む）**

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成27年4月1日～ 平成27年12月17日 (平成27年度累計)	22 (22)	0 (0)	6 (6)	28 (28)
平成26年4月1日～ 平成26年12月17日 (平成26年度累計)	20 (48)	2 (3)	3 (6)	25 (57)
平成25年4月1日～ 平成25年12月17日 (平成25年度累計)	20 (71)	4 (6)	3 (5)	27 (82)

(単位：件)

**(2) ウイルス性胃腸炎の予防方法**

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内5472】



平成 27 年 12 月 18 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりサポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

奥州市内の保育所（児童数 130 名、職員数 38 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 12 月 10 日（木）、当該施設から奥州保健所に、複数の児童が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から奥州保健所が調査を開始し、11 月 25 日（水）から 12 月 16 日（水）にかけて、児童 17 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	総計
男	4	0	1	0	2	1	8
女	3	4	1	0	0	1	9
計	7	4	2	0	2	2	17

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 7 名からサポウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 12 月 18 日 (平成 27 年度累計)	23 (23)	0 (0)	7 (7)	30 (30)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 12 月 18 日 (平成 26 年度累計)	20 (48)	2 (3)	3 (6)	25 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 12 月 18 日 (平成 25 年度累計)	21 (71)	4 (6)	3 (5)	28 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 27 年 12 月 24 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

花巻市内の保育所（児童数 50 名、職員数 18 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 12 月 21 日（月）、当該施設から中部保健所に、複数の児童が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から中部保健所が調査を開始し、12 月 10 日（木）から 12 月 23 日（水）にかけて、児童 25 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区 分	0 歳児 クラス	1 歳児 クラス	2 歳児 クラス	3 歳児 クラス	4 歳児 クラス	5 歳児 クラス	総計
男	1	3	6	1	3	2	16
女	0	0	3	2	4	0	9
計	1	3	9	3	7	2	25

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 6 名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 12 月 18 日 (平成 27 年度累計)	25 (25)	0 (0)	8 (8)	33 (33)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 12 月 18 日 (平成 26 年度累計)	20 (48)	2 (3)	3 (6)	25 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 12 月 18 日 (平成 25 年度累計)	26 (71)	4 (6)	3 (5)	33 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 28 年 1 月 12 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

奥州市内の障がい児施設（入所者数 36 名、職員数 31 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 1 月 8 日（金）、当該施設から奥州保健所に、複数の入所者が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から奥州保健所が調査を開始し、1 月 5 日（火）から 1 月 12 日（火）にかけて、22 名（入所者 17 名、職員 5 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	入所者 10 歳未満	入所者 10 代	職員 20 代	職員 30 代	職員 40 代	職員 50 代	総計
男	1	14	0	0	1	0	16
女	2	0	1	1	1	1	6
計	3	14	1	1	2	1	22

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 4 名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 1 月 12 日 (平成 27 年度累計)	26 (26)	0 (0)	9 (9)	35 (35)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 1 月 12 日 (平成 26 年度累計)	22 (48)	2 (3)	3 (6)	27 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 1 月 12 日 (平成 25 年度累計)	34 (71)	4 (6)	3 (5)	41 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 28 年 1 月 18 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

平泉町内の障害者支援施設（入所者数 47 名、職員数 32 名）

#### 2 有症者の状況等

- （1） 1 月 13 日（水）、当該施設から一関保健所に、複数の入所者が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- （2） 同日から一関保健所が調査を開始し、1 月 7 日（木）から 1 月 14 日（木）にかけて、入所者 11 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- （3） 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	入所者 20代	入所者 30代	入所者 40代	入所者 50代	入所者 60代	入所者 70代	総計
男	0	1	5	0	2	0	8
女	1	0	0	1	0	1	3
計	1	1	5	1	2	1	11

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- （1） 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 6 名からノロウイルスを検出。
- （2） 一関保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- （3） 一関保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 1 月 18 日 (平成 27 年度累計)	29 (29)	0 (0)	9 (9)	38 (38)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 1 月 18 日 (平成 26 年度累計)	24 (48)	2 (3)	3 (6)	29 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 1 月 18 日 (平成 25 年度累計)	40 (71)	4 (6)	3 (5)	47 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。



平成 28 年 2 月 2 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生が 2 件ありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 紫波町内の保育所

##### (1) 施設の概要

紫波町内の保育所（児童数 125 名、職員数 40 名）

##### (2) 有症者の状況等

- ア 1 月 28 日（木）、当該施設から県央保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- イ 同日から県央保健所が調査を開始し、1 月 12 日（火）から 1 月 29 日（金）にかけて、41 名（園児 35 名、職員 6 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

##### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0 歳児 クラス	1 歳児 クラス	2 歳児 クラス	3 歳児 クラス	4 歳児 クラス	5 歳児 クラス	職員 (20 代)	職員 (30 代)	職員 (40 代)	合 計
男	1	4	3	2	2	2	1	0	0	15
女	3	3	2	5	3	5	2	2	1	26
計	4	7	5	7	5	7	3	2	1	41

(単位：人)

##### (3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 6 名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した疫学調査等から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

#### 2 紫波町内の幼稚園

##### (1) 施設の概要

紫波町内の幼稚園（児童数 127 名、職員数 13 名）

##### (2) 有症者の状況等

- ア 1 月 28 日（木）、当該施設から県央保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。

イ 同日から県央保健所が調査を開始し、1月24日(日)から1月29日(金)にかけて、42名(園児37名、職員5名)に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	職員 (20代)	職員 (30代)	職員 (50代)	合計
男	8	8	4	0	0	0	20
女	7	7	3	3	1	1	22
計	15	15	7	3	1	1	42

(単位：人)

### (3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した疫学調査等から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

### 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況(岩手県内、盛岡市分を含む)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成27年4月1日～ 平成28年2月2日 (平成27年度累計)	35 (35)	0 (0)	9 (9)	44 (44)
平成26年4月1日～ 平成27年2月2日 (平成26年度累計)	34 (48)	2 (3)	4 (6)	40 (57)
平成25年4月1日～ 平成26年2月2日 (平成25年度累計)	43 (71)	4 (6)	3 (5)	50 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内5472】

平成 28 年 2 月 4 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

奥州市内の保育所（園児数 59 名、職員数 26 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 2 月 1 日（月）、当該施設から奥州保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から奥州保健所が調査を開始し、1 月 28 日（木）から 2 月 3 日（水）にかけて、17 名（園児 14 名、職員 3 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0～1 歳児 クラス	2 歳児 クラス	3 歳児 クラス	4 歳児 クラス	5 歳児 クラス	職員 (30 代)	職員 (40 代)	職員 (50 代)	合 計
男	3	0	0	1	2	0	0	0	6
女	2	2	1	1	2	1	1	1	11
計	5	2	1	2	4	1	1	1	17

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 6 名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 2 月 4 日 (平成 27 年度累計)	37 (37)	0 (0)	9 (9)	46 (46)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 2 月 4 日 (平成 26 年度累計)	38 (48)	2 (3)	4 (6)	44 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 2 月 4 日 (平成 25 年度累計)	43 (71)	4 (6)	3 (5)	50 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 28 年 2 月 9 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

一関市内の保育所（園児数 67 名、職員数 23 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 2月5日(金)、当該施設から一関保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から一関保健所が調査を開始し、2月1日(月)から2月5日(金)にかけて、12名（園児 11 名、職員 1 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	0～1 歳児 クラス	1～2 歳児 クラス	3 歳児 クラス	4 歳児 クラス	5 歳児 クラス	職員 (20代)	合計
男	4	0	0	0	0	0	4
女	5	1	1	0	0	1	8
計	9	1	1	0	0	1	12

(単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 7 名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 2 月 9 日 (平成 27 年度累計)	38 (38)	0 (0)	9 (9)	47 (47)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 2 月 9 日 (平成 26 年度累計)	40 (48)	2 (3)	4 (6)	46 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 2 月 9 日 (平成 25 年度累計)	44 (71)	4 (6)	4 (5)	52 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 28 年 2 月 19 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生が 2 件ありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 滝沢市内の事案

##### (1) 施設の概要

滝沢市内の小学校（児童数 524 名、職員数 38 名）

##### (2) 有症者の状況等

- ア 2 月 17 日（水）、当該施設から県央保健所に、複数の児童が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- イ 同日から県央保健所が調査を開始し、2 月 12 日（金）から 2 月 18 日（木）にかけて、児童 44 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

##### 【有症者の性別・学年別構成】

区分	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計
男	16	0	5	1	2	0	24
女	9	2	3	2	2	2	20
計	25	2	8	3	4	2	44

（単位：人）

##### (3) 原因究明の調査等

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 3 名からノロウイルスを検出。
- イ 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- ウ 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

#### 2 二戸市内の事案

##### (1) 施設の概要

二戸市内の老人福祉施設（入所者数 63 名、職員数 38 名）

##### (2) 有症者の状況等

- ア 2 月 17 日（水）、当該施設から二戸保健所に、複数の入所者が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- イ 同日から二戸保健所が調査を開始し、2 月 11 日（木）から 2 月 18 日（木）にかけて、16 名（入所者 11 名、職員 5 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- ウ 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

**【有症者の性別・年齢別構成】**

区分	入所者 70歳代	入所者 80歳代	入所者 90歳代	職員 20歳代	職員 30歳代	職員 40歳代	職員 50歳代	計
男	0	1	0	0	1	0	1	3
女	1	4	5	2	0	1	0	13
計	1	5	5	2	1	1	1	16

(単位：人)

**(3) 原因究明の調査等**

- ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- イ 二戸保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- ウ 二戸保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

**【参考】**

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

**(1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）**

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成27年4月1日～ 平成28年2月19日 (平成27年度累計)	41 (41)	0 (0)	10 (10)	51 (51)
平成26年4月1日～ 平成27年2月19日 (平成26年度累計)	43 (48)	2 (3)	5 (6)	50 (57)
平成25年4月1日～ 平成26年2月19日 (平成25年度累計)	52 (71)	4 (6)	5 (5)	61 (82)

(単位：件)

**(2) ウイルス性胃腸炎の予防方法**

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内5472】



平成 28 年 3 月 11 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

北上市内の幼稚園（園児数 258 名、職員数 23 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 3 月 7 日（月）、当該施設から中部保健所に、複数の園児が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から中部保健所が調査を開始し、3 月 3 日（木）から 3 月 8 日（火）にかけて、園児 14 名に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、入院者 0 名、重症者なし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	3 歳児 クラス	4 歳児 クラス	5 歳児 クラス	合 計
男	2	5	1	8
女	0	5	1	6
計	2	10	2	14

（単位：人）

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 2 名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 11 日 (平成 27 年度累計)	45 (45)	0 (0)	10 (10)	55 (55)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 3 月 11 日 (平成 26 年度累計)	48 (48)	2 (3)	5 (6)	55 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 11 日 (平成 25 年度累計)	66 (71)	4 (6)	5 (5)	75 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

平成 28 年 3 月 18 日

県政記者クラブ 各位

岩手県保健福祉部医療政策室

### 感染性胃腸炎の集団発生について

次のとおりノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民に対する注意喚起のため、お知らせします。

#### 1 施設の概要

紫波町内の老人福祉施設（利用者数 24 名、職員数 17 名）

#### 2 有症者の状況等

- (1) 3 月 16 日（水）、当該施設から県央保健所に、複数の利用者が、嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡。
- (2) 同日から県央保健所が調査を開始し、3 月 11 日（金）から 3 月 15 日（火）にかけて、12 名（利用者 9 名、職員 3 名）に嘔吐・下痢等の発症があったことを確認。
- (3) 入院者 1 名、有症者は回復傾向。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

区分	利用者			職員		計
	70 歳代	80 歳代	90 歳代	20 歳代	50 歳代	
男	2	0	3(1)	0	0	5(1)
女	0	3	1	1	2	7
計	2	3	4(1)	1	2	12(1)

( ) 内は入院者再掲 (単位：人)

#### 3 原因究明の調査等

- (1) 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者 6 名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した疫学調査から、施設の食事を原因とする食中毒の可能性は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し手洗い消毒等の二次感染対策について指導。

【担当 感染症担当 高橋・赤岩 内 5472】

## 【参考】

感染性胃腸炎は、多種多様な原因病原体による症候群名であり、主な原因病原体はノロウイルス及びロタウイルスであり、その他、サポウイルス、アストロウイルス、アデノウイルス等が散見される。

### (1) 感染性胃腸炎の集団発生の状況（盛岡市分を含む）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合 計
平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 18 日 (平成 27 年度累計)	46 (46)	0 (0)	10 (10)	56 (56)
平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 3 月 18 日 (平成 26 年度累計)	48 (48)	2 (3)	6 (6)	56 (57)
平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 18 日 (平成 25 年度累計)	70 (71)	4 (6)	5 (5)	79 (82)

(単位：件)

### (2) ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 吐いた場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ おう吐物や糞便などを片付けた用具、雑巾類は塩素系漂白剤で消毒する。
- ⑤ おう吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。